

第5章

計画の進行管理

- 1．計画の推進体制
- 2．計画の協働体制
- 3．計画の進行管理

第5章 計画の進行管理

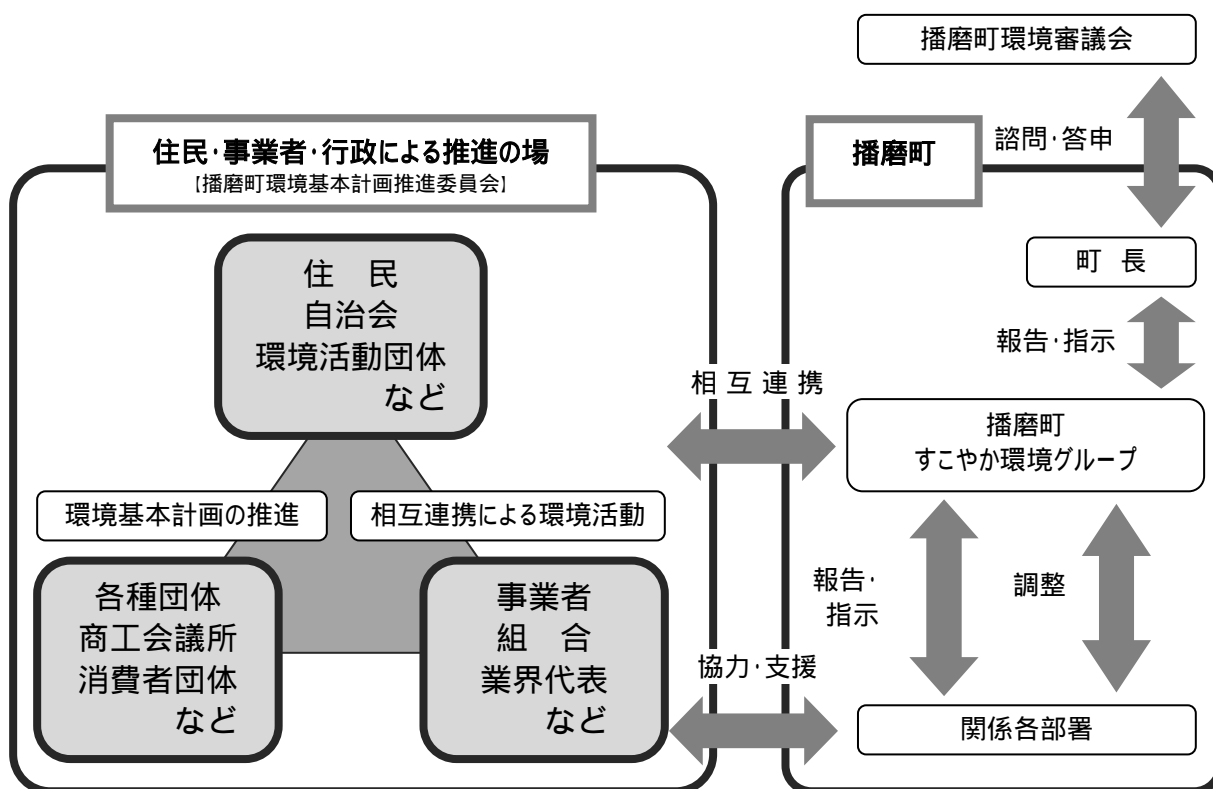
1. 計画の推進体制

播磨町環境基本計画にあげる環境施策に取り組むために、地域の各主体の参画と連携による推進を図る体制の整備を行います。

庁内においては庁内推進委員会（仮称）を設け、施策に対する庁内の合意、関係各部署との調整を図ります。

地域の連携と協働の場としては、住民・各種団体・事業者・行政等、各主体の参加による推進の場「播磨町環境基本計画推進委員会」を設置します。また、各主体が環境に関する取り組みを進める上での問題点や課題などの情報交換と情報共有を行うとともに、リサイクルや緑化活動などで積極的に活動している環境グループの育成など、環境活動における各主体の多様な連携方策を検討します。

計画の推進体制



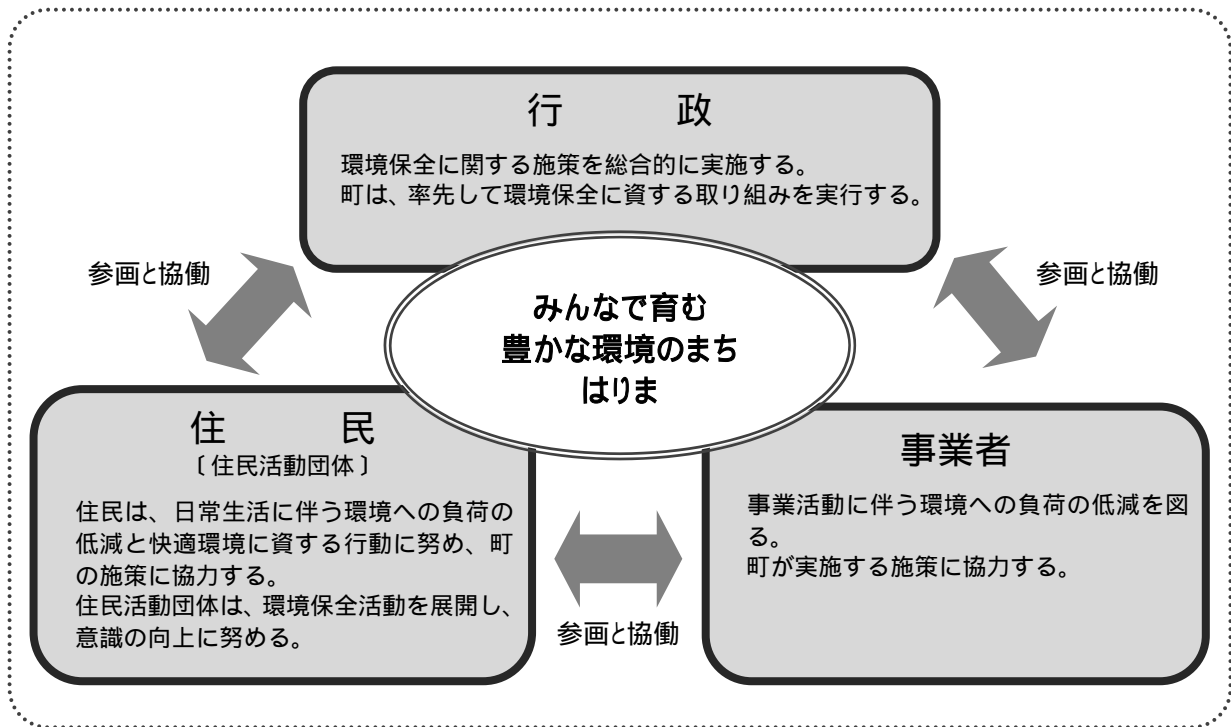
2 . 計画の協働体制

本計画の推進にあたっては、行政・住民・事業者がそれぞれの役割を認識し、協働で取り組むことが必要です。

その中で、町の役割は、計画の実現に向けて、環境保全に関する施策を総合的・計画的に推進することであり、各主体の環境保全の行動を促進するための仕組み及び制度の整備・環境情報の提供・環境教育の支援など、環境保全の基盤づくりに取り組む必要があります。

さらに、行政が率先して環境への負荷の低減を図るため、環境保全に資する事務改善行動を、積極的に継続実施する必要があります。

住民・事業者・行政の連携・協働体制イメージ図



「参画と協働」の波及効果



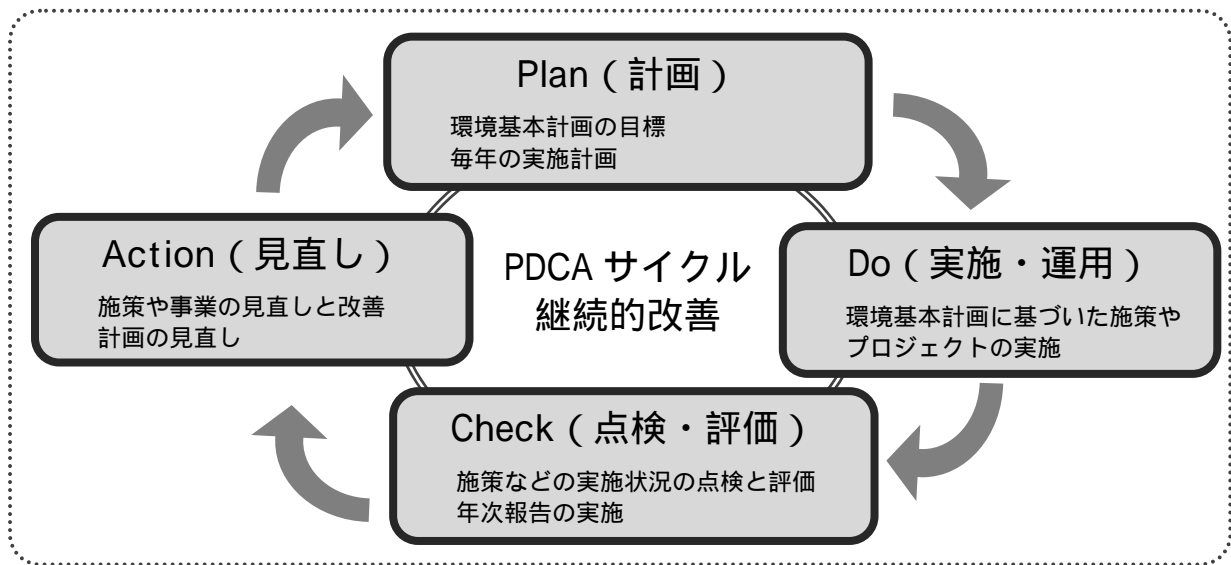
3 . 計画の進行管理

環境基本計画の推進にあたっては、環境マネジメントシステムの考え方を採り入れ、PDCA サイクルにより計画の進行管理を行います。

PDCA とは、Plan（計画）、Do（実施・運用）、Check（点検・評価）、Action（見直し）のことで、これらを繰り返し行っていくことで計画の進行状況を把握し、課題を解決しながら継続的な改善を図ります。PDCA の大きなサイクルとともに、プロセス間の小さなサイクル（調整）を確実に行うことで、全体の実効性を高めます。

なお、進行管理については、播磨町環境基本計画推進委員会が行うものとします。

PDCA サイクルイメージ図



また、計画の策定にあたり、情報提供及び説明のあり方、さらに、効率的・効果的な政策推進のために継続的な改善改革のあり方などの視点から、計画全体、各事業に関する指標を設定しました。指標の設定は、指標数値の推移を把握し、めざすべき目標とその実現手段としての取り組みの進行状況や成果について分析を行い、第3章の「施策の展開」、第4章「リーディングプロジェクト及び主体別行動指針」を構成する施策内容の進捗状況等を点検・評価します。

施策に対する点検・評価の視点

項目	指標種類	説明
「計画全体の推進により求める目標」に関する進捗評価 【第4章 リーディングプロジェクト】	アウトカム指標	施策や事業が意図している目標の成果を示した指標。行政活動の結果だけでは達成されず、社会・経済状況の変化など様々な要因に左右されるような指標。
「計画総論及び各論にかかわる経過を把握する項目」に関する進捗状況 【第3章 取り組むべき施策内容】	経過指標	計画推進の進捗を見るための参考指標。目標数値は設定されておらず、指標値の経過を監視（モニタリング）することにより、計画進捗の参考とする指標。
「事業にかかわる実施目標」に関する進捗評価 【第3章 総合指標】	アウトカム経過指標	経過指標の中でも、アウトカム指標の要素を備えた指標。満足度、市民の意識などを指標化したもの。
	アウトプット指標	行政活動による結果としての数値目標を示した指標。行政サービス供給の視点からの指標であり、行政活動の能率等により左右されるような指標。

